

# 令和3年度 城北畑小学校の教育・経営方針

## ◎ 学校教育目標の基盤

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の関係法規、学習指導要領
- (2) 令和3年度県教委「指導の重点」、市教委「丹波篠山の教育」の指導方針
- (3) 児童・地域の実態、保護者・地域の人々の願い、教師の願い

## ◎ 校訓 『 良 樹 細 根 』

## ◎ 行動規範 「 凡 事 徹 底 」 ・ 「 啐 啄 同 時 」

### 1 学校教育目標

#### 「互いに尊重し、共に学び、自律した 子どもの育成」

#### ◎ 目指す学校像

- ・子どもにとって、行きたい学校
- ・保護者にとって、通わせたい学校
- ・「整理・整頓・清掃」(3S)を心がける学校
- ・保護者・地域と共に歩み信頼される学校

#### ◎ 目指す児童像

- ・自分の考えを進んで発信するなど、自己表現できる子
- ・思いやりや寛容の心を持ち、人権を尊重する子
- ・健やかな身体を育み、豊かな情操と道徳心を持った子
- ・失敗を恐れず、困難や逆境に立ち向かう子

#### ◎ 目指す教師像

- ・主体的・対話的で深い学びを追求する教師(教科指導)
- ・学級が共感的で安心できる居場所にてできる教師(学級づくり)
- ・児童の良さや可能性を発揮できる教師(生徒指導)
- ・子どもの自立心や自律性の育成に努める教師(生徒指導)

### 2 基本方針

- (1) 社会の変化に対応しながら主体的に成長する「生きる力」を育み、こころ豊かで未来を創造する城北畑小学校づくりを進める。
- (2) 人権尊重の精神を基盤にして人とつながり、「自他を大切にできる心」を育て、体験活動を通して豊かな人間性を培う「心の教育」の充実を図る。
- (3) 児童に基礎的・基本的な内容を定着させると共に、自らが学び考える力の育成を図り、一人ひとりの興味・関心に応じて個性を伸ばす教育の充実に努める。
- (4) 全力を尽くしてがんばれる力の基礎となる体力と、生涯に通じる健康づくりの充実に努める。
- (5) 学校・家庭・地域社会の連携を深め、それぞれの教育力を活かし、地域社会の信頼に応える「開かれた学校づくり」「特色ある学校づくり」「学校評価」を推進する。

### 3 重点目標

- (1) 児童の道徳性を養い、「豊かな心」「人権を尊重する心」「規範意識」の育成
  - ・年間計画に基づいた、心情をゆさぶる指導法の研究
  - ・「いじめ・暴力」を許さず、温かく思いやりに満ちた安全・安心な学級・学校づくり
  - ・自尊感情を育成する生徒指導、アンケート等を取り入れた共感的児童理解と関係機関と連携した教育相談
  - ・校種間のスムーズな連携
- (2) 知識基盤社会に対応する「確かな学力」を育成するため、基礎・基本を習得し、思考力・判断力・表現力等の活用する力、探究する態度の育成
  - ・全国学力・学習状況調査等を踏まえた学力向上のための組織的な取組
  - ・主体的な学び・対話的な学び・深い学びの視点からの指導法の研究
  - ・保護者との連携による学習しようとする態度・学び続けようとする力の形成
- (3) すべての活動を支える「健やかな体」を育む。
  - ・体力テストや体育的行事を活かしての体力づくり・習慣づくりの推進
  - ・家庭・地域との連携による食育の推進
- (4) 震災の教訓を活かした、新たな学校安全体制の整備を進める。
  - ・「安全管理」「安全教育」「組織活動」の視点からの学校安全体制の推進と地域との連携
  - ・生命の尊さや助け合いの大切さについての理解とボランティア精神の高揚
- (5) ユニバーサルな社会づくりの理念に基づく特別支援教育の充実を図る。
  - ・発達の段階・特性の把握と、課題に応じた指導の充実
  - ・特別支援教育の理解と啓発、交流や共同学習等の深化
- (6) 自主的・自律的・協同的な特別活動の充実に努める。
  - ・学校の伝統の継承と、学校行事の精選と充実
  - ・縦割り班活動・校種間活動等集団活動での社会性・自主性の育成
- (7) 特別の教科「道徳」や外国語教育等の課題の指導の充実を図る。
  - ・児童と地域との関わりを目指したふるさと学習等の特色ある教育活動の推進
  - ・共に生きる社会をめざす国際理解教育、環境教育、福祉教育、情報教育の充実
  - ・外国語によるコミュニケーション能力の向上
- (8) 家庭・地域とともにある学校を目指し、その信頼に応える。
  - ・地域諸会合への出席や学校だより、HP更新を通して学校の成果を地域に発信
  - ・地域運営協議会との連携
  - ・学校マネジメントの視点から、学校評価を実のあるものにするための効果的活用
  - ・キャリアマネジメントの視点から教職員面談を実施、プロとしての誇りと自覚、危機管理意識を育成
  - ・勤務時間の適正化に取り組む。